

大切なのは、ひと、自然、平和

ゆり ネット

まつざき

松崎 ゆり子 2015年 秋号 Vol. 2
大野城市議会 便り



来年度から学童保育が6年生までに拡大します 新安保法制は憲法違反、廃止を求めます



秋も深まってまいりました。いかがお過ごしでしょうか。

ゆりネット2号をお届けいたします。

さて、9月議会では、学童保育の拡大や小規模2保育所の開設、平野中の空調整備、中学校ランチ給食の負担軽減など、子ども・子育て支援関係の補正予算などが成立しました。

また、新安全保障法制を巡って賛否双方の「意見書」が激突しました。私は、再び「戦争する国」になってはならない!との思いから「撤回を求める意見書」を提出しました。

憲法は「戦争と武力の行使は永久に放棄する」と定めています。集団的自衛権と武力の行使を認める新安保法制は、憲法に違反し日本を危険な方向へ導きます。中東の内戦や難民の苦難も米国のイラク攻撃に起因し、武力では泥沼に陥ることを示しています。

鹿児島川内に続き愛媛伊方原発も再稼働に向かっています。いのちと暮らしを軽んじる政治が続いていますが、若者やママ達ら市民の行動に希望を感じています。松崎ゆり子拝

9月定例議会 (1~25日) 条例改正、補正予算 (2億3092.4万円)、決算認定など審議しました

来年4月から、学童保育など子ども・子育て支援策が充実します!

- ① 学童保育：6年生までに拡大します (現在は3年生まで。条例改正)
- ② 待機児童対策：小規模保育所が中央と東に開設 (38人定員増、1705万円補正予算)
- ③ 平野中学校空調：来年度中に48教室に空調の整備 (債務負担補正580万円)
- ④ 中学校のランチ給食：就学援助の適用、料金も減額に (債務負担補正4661万円)
- ⑤ 空き家対策：計画策定や除却事務のため嘱託職員を配置 (83万円補正予算)
- ⑥ 少人数学級の推進と教育予算の拡充を求める請願および意見書 (全会一致で可決)

9月議会にて 松崎ゆり子は、

- ・『憲法に違反する新「安全保障法制」の撤回を求める意見書 (案)』を提案→7対12で否決
- ・マイナンバー制度実施のための「個人情報保護条例」の改正 に反対→3対16で可決
- ・一般質問は、「戦後70年、平和への取り組みについて」「子どもの貧困対策について」(2~3面)



I 戦後70年、平和への取り組みについて

大野城市 「非核・平和都市宣言」

恒久の平和と安全は人類共通の念願であり、この至高の目標の達成なくして、大野城市が希求する「みどりあふれるコミュニティ都市」の実現もまたあり得ない。

私達は生命の尊厳を深く認識し、国是である非核三原則が完全に実施されることを願い、核兵器の廃絶を全世界の人々に訴えるとともに、人類普遍の大義に向かって不断の努力を続けることが肝要である。

よって、大野城市は平和への誓いを新たにして、ここに「非核・平和都市」を宣言する。以上、決議する。

平成元年6月26日 大野城市議会

ゆり子 70年前、広島、長崎への原爆投下など、多大な犠牲を払ってようやく終戦を迎えることができた。本市の戦争遺跡や市民の証言を記録して、次の世代へ継承することが今日の課題ではないか。非核平和都市宣言を行っている本市の主な取り組みは

市民福祉部長 毎年夏、広島・長崎の原爆記念日の前後に、筑紫原爆被害者の会のご協力を得て「まどかびあ原爆資料展」を開催、10月には市戦没者追悼式を市遺族会と共に実施している。

ゆり子 本市の戦争の被害状況は

企画制作部長 大野城市史によると、人的なものは兵士としての召集や戦死者などの役場の正式記録が、太平洋戦争の終戦直後に軍の命令によって全て焼却されたと書いてあり、公式な記録は残っていない。しかし、市史の中で、当時の大野村の村長の日記が掲載されており、それによると、昭和12年の「日支事変」から昭和20年の太平洋戦争終結までに、大野村から出兵した兵士のうち228名の方が亡くなったと記述されている。

物的なものについては、大野村には直接の爆撃はなかったと記載されている。

ゆり子の提言 8月12日筑紫原爆被害者の会主催の「平和を未来永劫と願う会」に参加しました。大野城市の女性は当時15歳。学徒動員で長崎市の三菱兵器工場で魚雷部品製作中に被爆され、「戦争は絶対にしてはならない」と訴えられました。私が出会った戦争体験者のどの方も、二度と戦争をしてはいけない、地獄のような体験を次の世代に伝えることが、友や親兄弟を失い生き残った者の使命、という強い思いを持っておられます。

再び「戦争できる国」へ舵を切る政治の中で、平和憲法や大野城市「非核・平和都市宣言」を学び直し、体験者の証言や思いを記録し継承し「戦争しない」社会をしっかりと子どもたちに手渡していく平和教育や平和行政の一層の推進が求められます。

ゆり子 本市の戦争の遺跡、市民の体験その他について、記録の掘り起こしや保全状況は

企画制作部長 上大利土地区画整理事業の際の現地聞き取りにて、昭和20年3月ごろから本土戦に備えて、現在の南大利にある三兼池の近くの斜面に横穴を掘り、中には野砲を据えていたという情報があった。また、旭ヶ丘や南ヶ丘周辺には兵隊の防空壕がたくさん掘られていたこともわかっているが、現在は宅地等に開発され戦争遺跡は確認することができないよう。

市民の戦争体験については、戦後50周年の際、広く募集し、29名から寄稿された手記を取りまとめ、小冊子「終戦50周年記念戦争体験記」を平成7年に発行した。この冊子には兵士として満州などの戦地での体験や軍の工場に学徒動員された体験、戦死した兵士の家族の思いなどが綴られ、貴重な戦争体験記録となっている。

ゆり子 戦争の記録と平和への意志を次世代に伝える集いや、啓発、平和資料館の設置を検討してはどうか

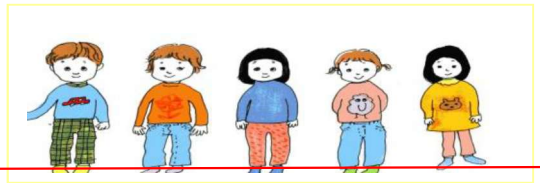
企画制作部長 「50年誌」を生かした平和への啓発活動を推進したい。平和資料館の設置は難しいが、企画展は可能と考える。



日本国憲法

前文「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」
9条「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、・・ 永久にこれを放棄する。国の交戦権は、これを認めない」

Ⅱ 子どもの貧困防止について



ゆり子 子どもの貧困に対する国や県の動きは

こども部長 国では、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、教育の機会均等を図るため、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が26年1月に施行された。同年8月には「子どもの貧困対策に関する大綱」を策定した。

県は、国の大綱を勘案して関係部局長による横断的な検討組織において、「子どもの貧困対策の計画」を本年度内の策定を目指している。

ゆり子 小中学生の就学援助について、基準、対象児童・生徒の人数、比率の推移は

教育部長 準要保護の要件は、生活保護の廃止・停止を受けて1年以内、児童扶養手当を受給していること、または市民税の所得割額が基準額以下であること。

人数、比率は、5年前H22年度が1,714人で全体の18.8%、H24年度が1,803人で20%、H26年度が1,791人で19.9%である。

8月23日
警固公園
安保法制に
反対する
ママの会



マイナンバー制度はいらない

マイナンバー制度は、リスクは大きくかかり市民にメリットはほぼありません。10月下旬から12月にかけて番号が送られてきます。とりあえず「通知書」は保管し「カード」は申請しないのが無難でしょう（番号の記入がなくても役所や税務署の書類は受付られます）。

所得や福祉に関する情報等から市が保管する様々な個人情報に国に提供されていきます。6月には日本年金機構から約125万件の個人情報が流出しました。市や市民の作業的・経済的・精神的負担は大です。原発や沖縄の基地や消費税など、アベ政権はホトホト地方いじめですね。

ゆり子 子どもの貧困率は、全国では6人に1人、本市は就学援助で見ると5人に1人。子どもの貧困防止の施策や今後の計画は。

教育部長 子どもの貧困防止のためだけではないが二つの取り組みを検討している。一つは、家庭での学習習慣が不十分であるなどの学習支援が必要な中学生を対象とした学習支援事業を実施する方向で検討中。二つ目は、不登校総合支援予防プロジェクトとしてスクール・ソーシャルワーカーの体制を充実し、専門的な立場から要因分析や、家庭訪問など学校と連携しての支援を検討している。

ゆり子の提言 ひとり親家庭の子どもたちの貧困率は54.8%、2人に1人。そして、ひとり親家庭の親たちのほとんどが働いています（母子家庭80.6%、父子家庭91.3%—大綱より—）。仕事と子育てを一人で担い、女性は賃金が低いため2つ3つと仕事をかけもちし朝から夜まで働くため余裕がなく、悲しい事件も起きています。中学生の学習支援やスクール・ソーシャルワーカーの充実など、総合的な支援の充実とともに、焦点を定めた支援も必要になっています。

また、子どもの貧困と格差は生まれる前から始まっています。妊娠・出産期、乳幼児期、小学校期、中学校期、高校生期とそれぞれの時期に応じて、すべての子どもたちが健やかに育つよう自立と社会参加を保障する支援が必要です。地域から「子どもの権利条約」に謳われている「最善の利益」を保障するシステムをめざして取り組みます。

2016年7月の参議院議員選挙では、18歳から投票できることになりました！！

弁護士で、社民党の参議院議員の福島みずほさんは、巨大与党の数の力に果敢に挑む力のある人です。
福島みずほさんを応援します！



ホームページ <http://www.mizuhoto.org/>